



春を告げる白梅 1/20

AIIC 粘菌の会 会報

第 22 号 令和 3 年
2021 年 2 月 1 日発行

市原の里山に白梅の花がちらほら咲き出しました。変異コロナウイルスの発生と感染拡大、日本海側では例年にない大雪による災害と、人々の暮らしに不安や困難が今も続いています。寒さの中、凛と咲く白梅に心癒され、明日への希望が湧いてくるようです。

そして、その白梅の下に目を向けると<写真右上> 昨年秋からのステイホームでしょうか？

今か今かと春を待っているような「粘菌」の姿がありました。<写真右下>

変身を繰り返さうして身を守り、億年を生き続けているのですね。この春には「森の宝石」と呼ばれるその愛らしい姿を紹介できると良いです。



能満地区農道横 倒木の切り株
樹皮の下部にひっそりとたたくむ
マメホコリの子実体(乾燥) 1/20

ねんきんの紹介



博物館展示コーナーより

行事予定

2月13日(土) 12:30~13:30 粘菌学校
テーマ「**自然環境と私たちの生き方**」
加藤修一 講師

13:40~15:00 定例会

- ☑参加はどなたでも OK です。(会員以外参加費 500 円)
- ☑コロナウイルス感染の状況によっては変更となります。

「変形菌ずかん」

ルリホコリ

川上新一 著
井沢正名 写真
参考図書より



誰もが虜に!!

— ルリホコリ —

粘菌ファンなら一度は出会ってみたい。光沢のある瑠璃色の子実体。秋から冬の雪の地方、針葉樹林の腐木に群生するそうです。房総の地では……？

☆林で見つけた<つるの実>を **ルリホコリ**に見立ててみました。

問い合わせ

090 7230 4847(佐藤)

文責 中村(良)